

Market Report

2024年1月号



インドネシアのパーム油生産量及び価格見通し

1. 実績

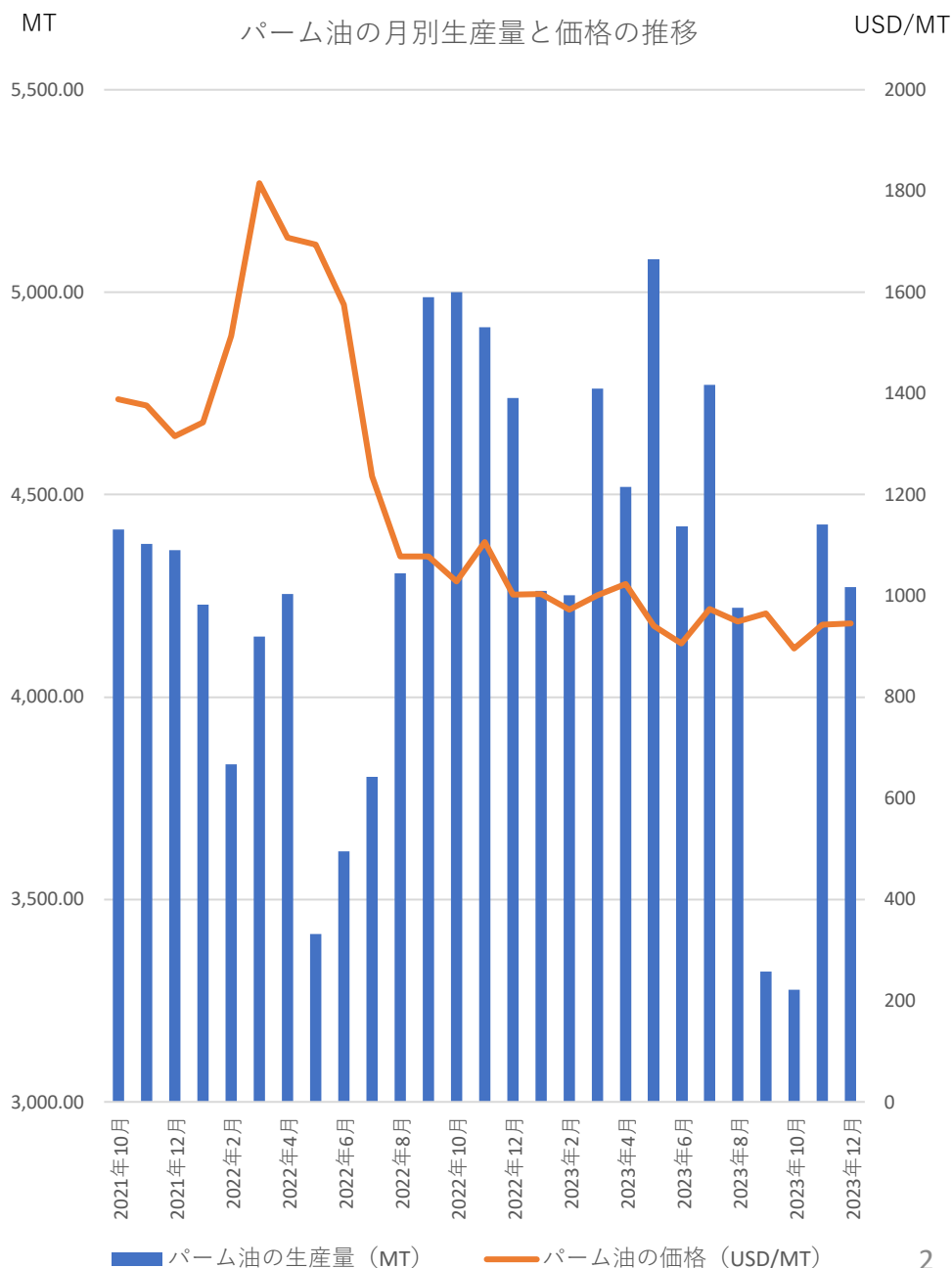
2023年12月のFFB価格は、2023年11月のFFB価格に比べて様々な州で価格変動があった。FFBの最高価格は2,399.02Rp/kgのリアウ州で、最低価格は1,650.69Rp/kgの西パプア州であった。

CPOの平均価格は10月の11,021.53 Rp/kgと比較して11月は11,322.53 Rp/kgと301 Rp/kg上昇した。一方昨年11月のCPO平均価格12,438.15 Rp/kgと比較すると1,116.52 Rp/kg下降した。

2. 見通し

インドネシアでは1月に入ると雨期が落ち着くと予想されるため、FFBとパーム油の生産量が増加すると予想される。

また、B40への推進によって、B35で必要だったパーム油以上の確保がB40のプログラムでは必要となるため、FFB価格やパーム油価格も徐々に上昇する可能性がある。



インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

1. 実績

2023年11月のインドネシアのPKS輸出量は394,274.672トンで、403,768.648トンと記録された10月の輸出量と比較すると9,493.976トン、約2.35%減少した。また、2023年11月のPKS輸出額は45,858,916 USDを記録した。

最大の輸出先は日本であり、輸出量は349,437.072トン、外貨換算額は41,514,243 USDを記録した。（日本へのPKS輸出量は、インドネシア全体の輸出量の約89%を占める）

2. 見通し

2024年1月は雨期が落ち着くため、パームヤシの収穫量とPKSの発生量は上昇すると考えられる。

